

	 便潜血検査	 大腸カメラ（内視鏡）	 大腸CTC (CTコロノグラフィ)
検査方法	便を2日分採取し、目に見えない血液が混じっていないか調べる。	肛門から細いカメラを入れ、大腸の中を直接観察する。	肛門から少量の炭酸ガスを入れ、CTで大腸を立体画像として撮影する。
検査時間	約5分（採便のみ）	約20～40分	約10～15分
痛み・負担	★☆☆☆☆ とても少ない	★★★☆☆ 個人差あり (鎮静剤も使用可能)	★★☆☆☆ カメラを入れないため比較的少ない
メリット	・簡単で手軽・費用が安い ・検診で広く利用されている	・最も詳しく調べられる ・小さなポリープも見つけやすい ・その場で組織検査やポリープ切除が可能	・カメラを奥まで入れない ・短時間で終了 ・大腸全体を立体的に確認可能 ・狭窄があっても観察しやすい
デメリット	・出血していないがんは見つからないことがある ・陽性なら精密検査（大腸カメラ）が必要	・前処置が必要 ・まれに出血や穿孔のリスク有 ・鎮静剤使用時は車の運転不可	・ポリープが見つかったても切除できない ・異常があれば大腸カメラ必要 ・少量の放射線を使用
おすすめな人	定期的ながん検診を受けたい人	・詳しく調べたい人 ・ポリープ切除も希望する人	・大腸カメラが苦手な人 ・内視鏡が困難な人
費用	大阪市民検診で300円	自費で1.5～3万円前後	自費で2～4万円前後